

Java Cloud Service へのアプリケーションのデプロイメント

1. Java Cloud Service サービス・コンソールの表示

The screenshot shows the Oracle Java Cloud Service service console. At the top, there are summary statistics: 2 services, 4 OCPUs, 30 GB memory, 236 GB storage, and 4 public IP addresses. Below this, a table lists two services:

サービス名	バージョン	エディション	ノード数	ロード・バランス	作成日
JCSSample	12.1.3.0	Enterprise Edition	2	音数	2017/09/04 12時56分28秒 UTC
[Redacted]	12.2.1.2	Enterprise Edition	2	音数	2017/09/01 10時44分22秒 UTC

On the right side of the screen, a context menu is open for the first service (JCSSample). The menu items are:

- WebLogic Serverコンソールを開く (highlighted with a red box)
- サービスの作成
- （Three horizontal lines icon, highlighted with a red box)

A red arrow points from the text "「WebLogic Serverコンソールを開く」をクリックする" (Click "Open WebLogic Console") to the "WebLogic Serverコンソールを開く" button in the menu. Another red arrow points from the text "メニューをクリックする" (Click the menu) to the three-line icon.

Java Cloud Service のサービス・コンソール画面を開きます。アプリケーションをデプロイする対象の Java Cloud Service インスタンス名の右側のメニュー・アイコンをクリックします。選択肢が複数出てくるので、その中から「WebLogic Server コンソールを開く」を選択します。

2. WebLogic Server 管理コンソールへのログイン



WebLogic Server 管理コンソール画面が表示されますので、管理者ユーザーIDとパスワード入力してログインします。この管理者ユーザーは、Java Cloud Service インスタンスの作成時に設定した管理者ユーザーIDとパスワードになります。

設定項目 設定値

ユーザー名 weblogic

パスワード Welcome1#

3. WebLogic Server 管理コンソールの表示

WebLogic Server 管理コンソールが表示されます。画面左部に「ドメイン構造」が表示されています。ここから各種の設定を行います。

まず、Database Cloud Service に作成した データベースに対する接続定義を行います。

4. データベースへの接続定義メニューの選択



「ドメイン構造」の中にある選択肢から「サービス」の配下にある「データ・ソース」を選択します。

JDBCデータ・ソースのサマリー画面が表示されると、作成済みのデータ・ソース定義が表示されます。これらは、WebLogicのエンドポイント情報やシステムやアプリケーション固有のポリシー設定、また証明資格などが格納するために使用する接続定義です。

また、WebLogic Server では構成定義を行う場合は競合が発生しないように排他的にロックをかけてから作業を行うようになっています。画面左上部の「ロックして編集」をクリックします。

5. 作成するデータ・ソース種別の選択

JDBCデータ・ソースのサマリー

このページでは、このドメイン内に作成されたJDBCデータ・ソース・オブジェクトの概要を示します。

名前	タイプ	JNDI名	ターゲット
GridLinkデータ・ソース	汎用	jdbc/LocalSrvTbDataSource	jcsslamp_adminserver
マルチデータ・ソース	汎用	jdbc/lndfowsm	jcsslamp_cluster
ops-sql-ODDS	汎用	jdbc/AuditAppendDataSource	jcsslamp_cluster, jcsslamp_adminserver
ops-audit-viewDS	汎用	jdbc/AuditViewDataSource	jcsslamp_cluster, jcsslamp_adminserver
opsps-data-source	汎用	jdbc/OppspDataSource	jcsslamp_cluster, jcsslamp_adminserver

「新規」をクリックします。すると複数のデータ・ソース種別が表示されます。その中から「汎用データ・ソース」を選択します。

データ・ソース種別	説明
汎用データ・ソース	一般的なデータ・ソース ※これを選択する
GridLinkデータ・ソース	Oracle RACインスタンスで状態の変化に順応して応答するイベント・ベースのデータ・ソース
マルチデータ・ソース	汎用データ・ソースをグループ化して抽象的にするデータ・ソース

6. データ・ソース名を設定

ホーム > JDBCデータ・ソースのサマリー

新しいJDBCデータ・ソースの作成

戻る 次 終了 取消

JDBCデータ・ソースのプロパティ

次のプロパティは、新しいJDBCデータ・ソースを識別するために使用されます。

*は必須フィールドです

新しいJDBCデータ・ソースの名前を指定してください。

*名前: sample

新しいJDBCデータ・ソースのJNDI名を指定してください。

JNDI名: jdbc/hrDS

データベースのタイプ:

Oracle

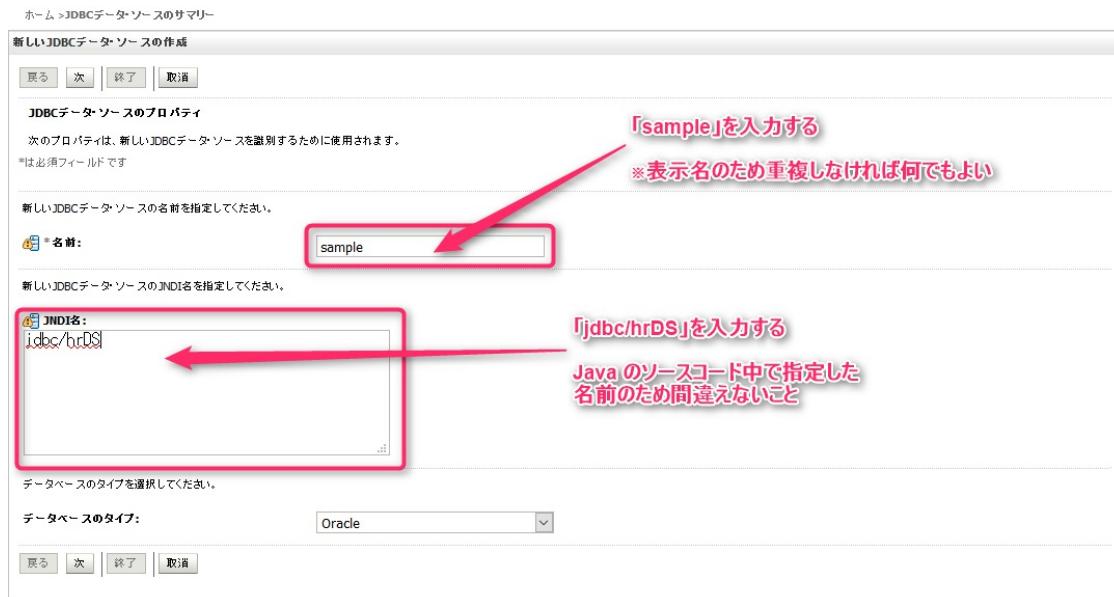
「sample」を入力する
※表示名のため重複しなければ何でもよい

「jdbc/hrDS」を入力する
Java のソースコード中で指定した
名前のため間違えないこと

データベースのタイプを選択してください。

データベースのタイプ: Oracle

戻る 次 終了 取消

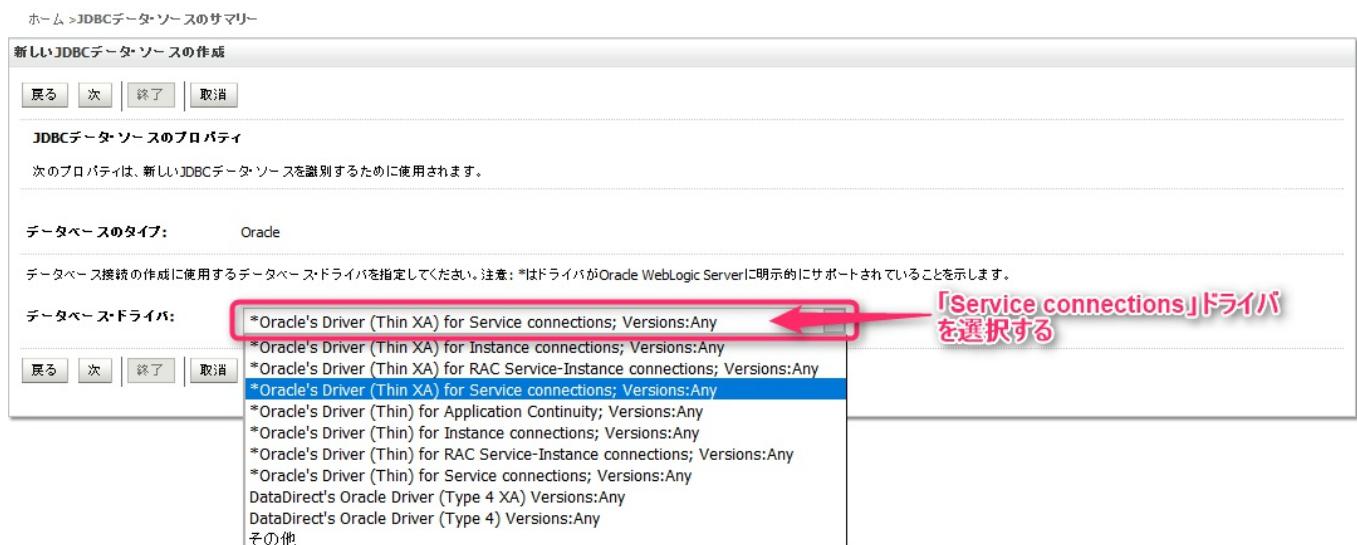


各テキストフィールドに以下のように入力します。

項目名	入力値	説明
名前	sample	管理用につける名前 重複しなければ何でもよい
JNDI名	jdbc/hrDS	プログラムのソースコードの中で指定する名前 間違えないように入力する事

上記を入力した後、「次」をクリックします。

7. データベース・ドライバの選択



「データベース・ドライバのタイプ」の選択肢では、**Oracle's Driver (Thin XA) for Service connections; Versions: Any** を選択します。

選択後、「次」をクリックします。

8. トランザクション・オプション



「次」をクリックします。

9. 接続プロパティの設定

ホーム > JDBCデータソースのサマリー

新しいJDBCデータソースの作成

戻る 次 終了 取消

接続プロパティ

接続プロパティを定義します。

接続先のデータベースの名前を指定してください。

データベース名: PDB1.<アイデンティドメイン名>.oraclecloud:internal

データベース・サーバーの名前またはIPアドレスを指定してください。

ホスト名: DBCS-Sample

データベースへの接続に使用するデータベース・サーバーのポートを指定してください。

ポート: 1521

データベース接続の作成に使用するデータベース・アカウントのユーザー名を指定してください。

データベース・ユーザー名: HR

データベース接続の作成に使用するデータベース・アカウントのパスワードを指定してください。

パスワード: Welcome1#

パスワードの確認: Welcome1#

追加の接続プロパティ:

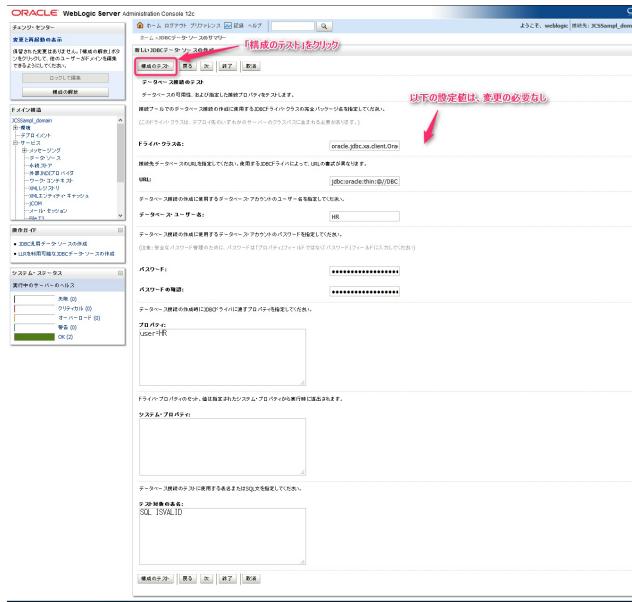
oracle.jdbc.DRCPConnectionClass:

戻る 次 終了 取消

項目名	設定値
データベース名	PDB1.<アイデンティドメイン名>.oraclecloud.internal
ホスト名	DBCS-Sample
ポート	1521
データベース・ユーザー名	HR
パスワード	Welcome1#
パスワードの確認	Welcome1#

入力後、「次」をクリックします。

10. 接続情報の確認



ここまで手順により、URLの項目値は以下のように設定されています。

項目名 設定値

URL `jdbc:oracle:thin:@//DBCS-Sample:1521/PDB1.<アイデンティドメイン名>.oraclecloud.internal`

「構成のテスト」をクリックします。接続情報に間違いがないと下記のようにデータベースへの接続が成功したメッセージが表示されます。



接続の成功が確認できたら、「次」をクリックします。

11. ターゲットの選択

ホーム > JDBCデータ・ソースのサマリー

新しいJDBCデータ・ソースの作成

戻る 次 終了 取消

ターゲットの選択

新しいJDBCデータ・ソースのデプロイ先として、1つまたは複数のターゲットを選択できます。ターゲットを選択しない場合でもデータ・ソースは作成されますが、デプロイされません。その場合、後でデータ・ソースをデプロイする必要があります。

サーバー
□ JCSSmpl_adminserver

クラスタ
☑ JCSSmpl_cluster
◎ クラスタのすべてのサーバー
○ クラスタの一部
□ JCSSmpl_server_1

戻る 次 終了 取消

定義したデータ・ソースをどのWebLogic Server インスタンスに関連付けるかの設定を行います。

ここでは、「クラスタのすべてのサーバー」を選択します。

選択したら「終了」をクリックします。

12. 構成変更の反映

ホーム ログアウト フィルタリング 記録 ヘルプ

https://146.56.1.102:7002/console/console.portal?_nfpb=true&_pageLabel=GlobalJDBCDatasourc... summary ようこそ、weblogic 接続先: JCSSmpl_domain

ORACLE WebLogic Server Administration Console 12c

ホーム > JDBCデータ・ソースのサマリー

変更と再起動の表示

変更された変数があります。有効にするにはアクティベートしてください。

✓ 変更のアクティベート

すべての変更を取消し

新規 監視

「変更のアクティベート」をクリックする

JDBCデータ・ソースは、既定接続のプールを作成したデータベース接続を提供するJNDIリソースにバインドされたオブジェクトです。アプリケーションからJNDIリソースをロックアップして、データ・ソースからデータベース接続を離すことができます。

このページでは、このドメイン内に作成されたJDBCデータ・ソースオブジェクトの概要を示します。

このおまかせカスタマイズ

データ・ソース (フィルタされています - 他にも列あります)

名前	タイプ	JNDI名	ターゲット
LocalSvCtBDataSource	汎用	jdbc/LocalSvCtBDataSource	JCSSmpl_adminserver
mds-owm	汎用	jdbc/mds-owm	JCSSmpl_cluster
opss-audit-ODDS	汎用	jdbc/AuditAppendDataSource	JCSSmpl_cluster, JCSSmpl_adminserver
opss-audit-viewDS	汎用	jdbc/AuditViewDataSource	JCSSmpl_cluster, JCSSmpl_adminserver
opss-data-source	汎用	jdbc/OpssDataSource	JCSSmpl_cluster, JCSSmpl_adminserver
sample	汎用	jdbc/hrDS	JCSSmpl_cluster

新規 削除

追加したデータソースが表示されている

表示項目 1 - 6/6 前 | 次

操作ガイド

- JDBC用データ・ソースの作成
- JDBC GridLinkデータ・ソースの作成
- JDBCマルチデータ・ソースの作成
- JDBCデータ・ソースの削除
- JDBCマルチデータ・ソースの削除

https://146.56.1.102:7002/console/console.portal?_nfpb=true&_pageLabel=GlobalJDBCDatasourceTablePage

データ・ソースの一覧表示画面に、作成したデータ・ソース「sample」が表示されている事が確認できます。

このデータ・ソースを WebLogic ドメインに反映するために画面左上部の 変更のアクティベート をクリックします。

13. アプリケーションのデプロイメント

The screenshot shows the Oracle WebLogic Server Administration Console interface. In the center, there is a large window titled "「ロックして編集」をクリックする" (Click to Lock and Edit). This window contains several tabs: "概要とリソース" (Overview and Resources), "全般的な代替案" (General Substitutes), "サービス" (Services), "環境" (Environment), "相互運用性" (Interoperability), and "診断" (Diagnosis). On the left, a sidebar shows the navigation tree under "ドメイン構造" (Domain Structure) for "JCSSampl_domain". The "デプロイメント" (Deployment) node is highlighted with a red arrow. Below it, the "デプロイメント" (Deployment) tab is selected. The main content area displays deployment-related information and links.

アプリケーションをデプロイするために改めて WebLogic 環境のロックを取得します。画面左上部の「ロックして編集」をクリックします。

続いて、ドメイン構造のメニュー内にある「デプロイメント」をクリックします。

The screenshot shows the Oracle WebLogic Server Administration Console interface. In the center, there is a large window titled "このドメインのデプロイメントのサマリー" (Summary of this domain's deployment). This window contains tabs: "制御" (Control) and "監視" (Monitoring). The "制御" tab is selected. Below it, the "デプロイメント" (Deployment) tab is highlighted with a red arrow. The main content area displays deployment summary information and a table of deployed modules.

名前	状態	ヘルス	タイプ	ターゲット	デプロイ順序
edf.oracle.businesseditor(1.0,12.1.3.0.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSSampl_adminserver, JCSSampl_cluster	100
edf.oracle.domain(1.0,12.1.3.0.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSSampl_adminserver, JCSSampl_cluster	100
edf.oracle.domain.webapp(1.0,12.1.3.0.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSSampl_adminserver, JCSSampl_cluster	100
coherence-transaction-rar	アクティブ	✓ OK	リノース・アダプタ	JCSSampl_adminserver, JCSSampl_cluster	100
DMS Application (12.1.3.0.0)	アクティブ	✓ OK	Webアプリケーション	JCSSampl_adminserver, JCSSampl_cluster	5
em	アクティブ	✓ OK	エンタープライズ・アプリケーション	JCSSampl_adminserver	400
emagentsdkmppriv_jar(11.2.0.1.0,12.1.0.3.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSSampl_adminserver, JCSSampl_cluster	100
emagentsdkmp_jar(11.2.0.1.0,12.1.0.3.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSSampl_adminserver, JCSSampl_cluster	100
emagentsdk_jar(11.2.12.1.0.3.0)	アクティブ		ライブラリ	JCSSampl_adminserver, JCSSampl_cluster	100

続いて、「インストール」をクリックします。

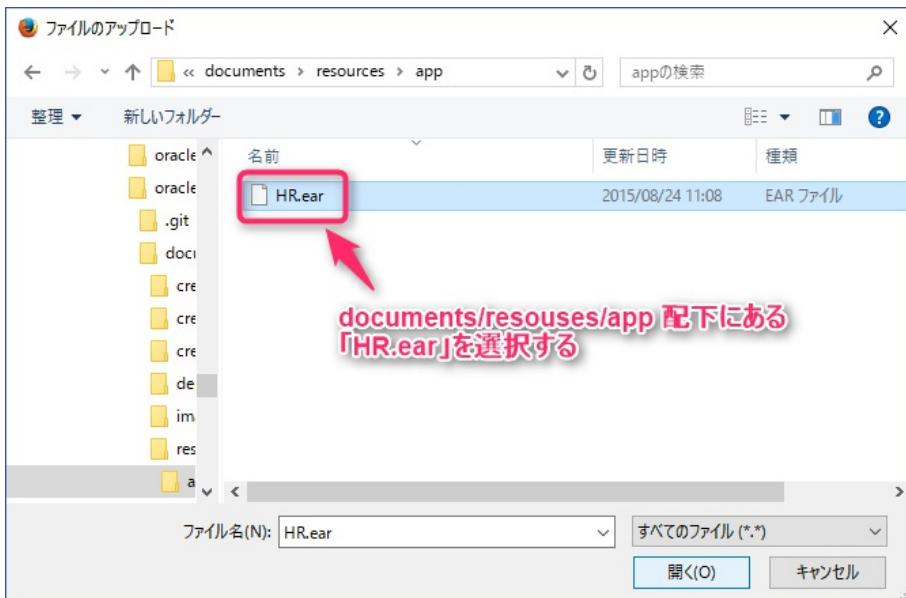
14. デプロイするアプリケーション・ファイルの選択



ローカルPC上にあるアプリケーションをアップロードする場合は、画面文章内にある「ファイルをアップロード」をクリックします。



「デプロイメント・アーカイブ」の項目にある「参照...」をクリックします。



documents/resources/app ディレクトリにアプリケーション **HR.ear** を配置しています。これを選択します。

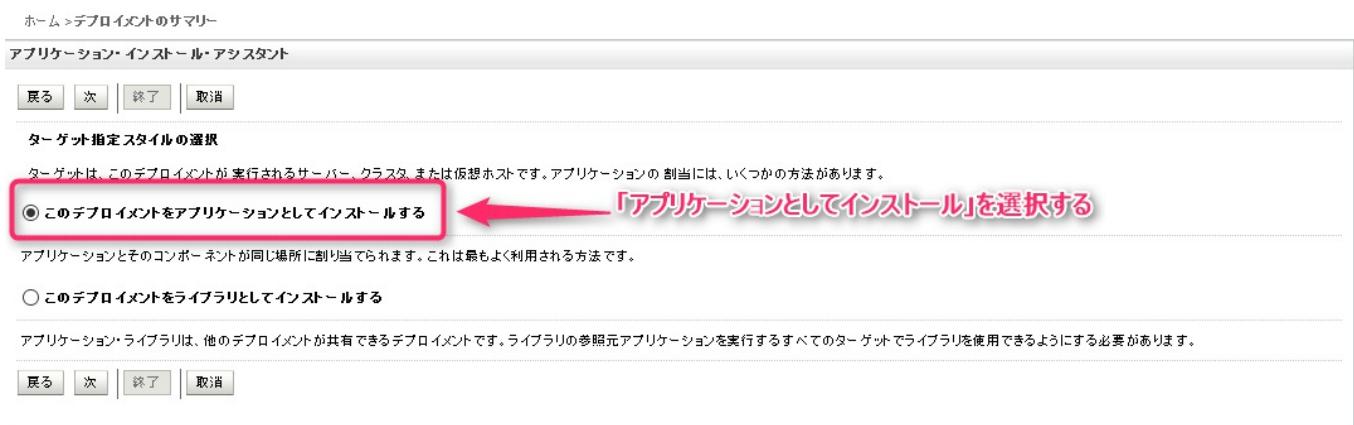


「参照...」ボタン横に HR.ear が表示されている事を確認したら、「次」をクリックします。



正常にアプリケーションファイルがアップロード出来ている事が確認できたら、「次」をクリックします。

15. アプリケーションのインストール



「このデプロイメントをアプリケーションとしてインストールする」を選択して「次」をクリックします。

16. デプロイ・ターゲットの選択



アプリケーションのデプロイ先を選択します。ここでは、「クラスタのすべてのサーバー」を選択します。

選択した後、「次」をクリックします。

その後のオプション設定の画面は変更は必要ありません。

そのまま「次」をクリックします。

17. アプリケーション・デプロイメントの反映

ホーム > デプロイメントのサマリー

アプリケーション・インストール・アシスタント 「終了」をクリックする

戻る 次 終了 取消

選択項目を確認して「終了」をクリック

デプロイメントを完了するには、「終了」をクリックします。完了するまではしばらくかかる場合があります。

— 追加構成 —

このアプリケーションが正常に機能するには、追加構成が必要な場合があります。このアシスタントの完了後に、このアプリケーションの構成を確認します。

① はい、デプロイメントの構成画面に移動します。

② いいえ、後で構成を確認します。

— サマリー —

デプロイメント: /u01/data/domains/JCSSmpl_domain/servers/JCSSmpl_adminserver/upload/HR.ear

名前: HR

ステーリング・モード: 選択したターゲットに定義されるデフォルトを使用

ステーリング・モードの計画: アプリケーションと同じアクセス可能性を使用します

セキュリティ・モデル: DDのみ: デプロイメント・ディスクリプタ内に定義されたロールとポリシーのみを使用します。

ターゲットのサマリー

コンボーネント	ターゲット
HR.ear	JCSSmpl_cluster

戻る 次 終了 取消

「終了」をクリックします。

ホーム > デプロイメントのサマリー > HR

HRの設定

概要 デプロイメント・プラン 構成 セキュリティ ターゲット 制御 テスト中 監視 ノート

保存 「保存」をクリックする

このページでは、エンタープライズ・アプリケーションの全般的な構成(アプリケーション名、アプリケーション・ファイルの物理パス、関連付けられているデプロイメント・プランなど)を表示します。ページの最後にある表は、エンタープライズ・アプリケーションに含まれているモジュール(WebアプリケーションおよびEJB)を示します。モジュールの名前をクリックすると、そのモジュールの構成を表示および更新できます。

名前:	HR	このエンタープライズ・アプリケーションの名前。 詳細...
パス:	/u01/data/domains/JCSSmpl_domain/servers/JCSSmpl_adminserver/upload/HR.ear	管理サーバー上のデプロイ可能なユニットのソースへのパス。 詳細...
デプロイメント・プラン:	(プラン未指定)	管理サーバー上のデプロイメント・プラン・ディキュメントへのパス。 詳細...
ステーリング・モード:	(未指定)	アプリケーションの準備中に、管理サーバーのソースから管理対象サーバーのステーリング領域にデプロイメントのファイルをコピーするかどうかを指定します。 詳細...
ステーリング・モードの計画:	(未指定)	アプリケーションの準備段階で、管理サーバーのソースから管理対象サーバーのステーリング領域にアプリケーションのデプロイメント計画をコピーするかどうかを指定します。 詳細...
セキュリティ・モデル:	DDOnly	デプロイされているモジュールの保護に使用されるセキュリティ・モデル。 詳細...
デプロイ順序:	100	起動中にこのユニットがデプロイされたときを表す数値で、サーバー上の他のデプロイ可能ユニットに対する相対的な値。 詳細...
デプロイメント・プリンシパル名:		起動および停止中にファイルまたはアーカイブをデプロイするときに使用されるプリンシパルを示す文字列値。このプリンシパルは、ApplicationLifecycleListenerなどのインターフェース用のアプリケーション・コードを呼び出すときに、現在のプロジェクトを検定する

「保存」をクリックします。

ORACLE WebLogic Server Administration Console 12c

変更と再起動の表示

保存された変更があります。有効にするにはアクティブ化する必要があります。

✓ 変更が正常に更新されました。

すべての変更を取消し

「変更のアクティベート」をクリックする

HRの設定

概要 デプロイメント・プラン 構成 セキュリティ ターゲット 制御 テスト中 監視 ノート

保存

トメイン構造 JCSample_domain

- + 構成
- + デプロイメント
- + サービス
- + セキュリティ レルム
- + 相互運用性
- + ログ

操作ガイド

- デプロイされたエンタープライズ・アプリケーションの構成の起動と停止
- エンタープライズ・アプリケーションの構成
- デプロイメント・プランの作成
- エンタープライズ・アプリケーションのサーバーへの割当
- エンタープライズ・アプリケーションのモジュールのテスト

システム・ステータス

実行中のサーバーのヘルス

失敗 (0)

名前: HR このエンタープライズ・アプリケーションの名前。 詳細...

パス: /u01/data/domains/JCSample_domain/servers/JCSample_adminserver/upload/HR 管理サーバー上のデプロイ可能なユニットのソースへのパス。 詳細...

デプロイメント・プラン: (プラン未指定) 管理サーバー上のデプロイメント・プラン・ドキュメントへのパス。 詳細...

ステーシング・モード: (未指定) アプリケーションの準備中に、管理サーバーのソースから管理対象サーバーのステーシング候補にアプリケーションのデプロイメント計画をコピーするかどうかを指定します。 詳細...

セキュリティ モデル: DDOnly デプロイされているモジュールの保護に使用されるセキュリティ モデル。 詳細...

デプロイ順序: 100 起動中にこのユニットがデプロイされたとき先表す順位で、サーバー上の他のデプロイ可能ユニットに対する相対的な順位。 詳細...

デプロイメント・プリンシバル 名: 起動および停止中にファイルまたはアーカイブをデプロイするときに使用されるプリンシバルを示す文字列。このプリンシバルは、ApplicationLifecycleListenerなどのインターフェース用のアプリケーションコードを呼び出すときに、現在のサブジェクトを設定するために使用されます。プリンシバル名が指定されていない場合、匿名プリンシバルが使用されます。 詳細...

「デプロイしたアプリケーションを WebLogic ドメインに反映するために、画面左上部の「変更のアクティベート」をクリックします。」

18. アプリケーションの始動

ホーム > デプロイメントのサマリー > HR > デプロイメントのサマリー

デプロイメントのサマリー

このページには、このドメインにインストールされたJava EEアプリケーションとスタンドアロン・アプリケーション・モジュールが一覧表示されます。インストールされたアプリケーションとモジュールは、最初にアプリケーション名を選択し、このページのコントロールを使用して起動、停止、更新(再デプロイ)したり、ドメインから削除したりできます。

このドメインのターゲットにデプロイするアプリケーションまたはモジュールを新しくインストールするには、「インストール」ボタンを使用します。

「次」をクリックする

この表のカスタマイズ

デプロイメント

名前	状態	ヘルス	タイプ	ターゲット	デプロイ順序
adf.oracle.businesseditor(1.0,12.1.3.0.0)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
adf.oracle.domain(1.0,12.1.3.0.0)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
adf.oracle.domain.webapp(1.0,12.1.3.0.0)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
coherence-transaction-rar	アクティブ	✓ OK	リソース・アダプタ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100
DMS Application (12.1.3.0.0)	アクティブ	✓ OK	Webアプリケーション	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	5
em	アクティブ	✓ OK	エンタープライズ・アプリケーション	JCSSamp1_adminserver	400
emagentsdkimplpriv_jar(11.2.0.1.0,12.1.0.3.0)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
emagentsdkimpl_jar(11.2.0.1.0,12.1.0.3.0)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
emagentsdk_jar(11.2,12.1.0.3.0)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	

「デプロイメント」を改めてクリックし、アプリケーションの一覧画面を表示します。そして、「次」をクリックし、デプロイしたアプリケーション(HR)を探します。

ORACLE WebLogic Server Administration Console 12c

デプロイメントのサマリー

このページには、このドメインにインストールされたJava EEアプリケーションとスタンドアロン・アプリケーション・モジュールが一覧表示されます。インストールされたアプリケーションとモジュールは、最初にアプリケーション名を選択し、このページのコントロールを使用して起動、停止、更新(再デプロイ)したり、ドメインから削除したりできます。

このドメインのターゲットにデプロイするアプリケーションまたはモジュールを新しくインストールするには、「インストール」ボタンを使用します。

この表のカスタマイズ

デプロイメント

名前	状態	ヘルス	タイプ	ターゲット	デプロイ順序
em_sdcore_ppc_public_pojo_jar	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
HR	準備完了	✓ OK	エンタープライズ・アプリケーション	JCSSamp1_cluster	100
inf(1,2,1.7.0!)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
jet(1,2,1.2.0.!)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
log4_jar(1.3,1.2.15)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
odl.clickhistory(1.0,12.1.3)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
odl.clickhistory.webapp(1.0,12.1.3)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
ohw-rcf(5,12.1.3.0.0)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	
ohw-uix(5,12.1.3.0.0)	アクティブ	ライブラリ	JCSSamp1_adminserver, JCSSamp1_cluster	100	

インストール直後は、状態が「準備完了」となっていて、まだ始動していないので開始する必要があります。

デプロイメントのサマリー

制御 監視

このページには、このドメインにインストールされたJava EEアプリケーションとスタンドアロン・アプリケーション・モジュールが一覧表示されます。インストールされたアプリケーションとモジュールは、最初にアプリケーション名を選択し、このページのコントロールを使用して起動、停止、更新(再デプロイ)したり、ドメインから削除したりできます。

このドメインのターゲットにデプロイするアプリケーションまたはモジュールを新しくインストールするには、「インストール」ボタンを使用します。

この表のカスタマイズ

「起動」>「すべてのリクエストを処理」をクリックする

名前	状態	ヘルス	タイプ	ターゲット	デプロイ順序
<input type="checkbox"/> em_sdkcore_ppc_public_pojo_jar	アクティブ	ライブラリ	JCSSmpl_adminserver, JCSSmpl_cluster	100	
<input checked="" type="checkbox"/> HR	準備完了 ✓ OK	エンタープライズ・アプリケーション	JCSSmpl_cluster	100	
<input type="checkbox"/> jsf(2.1,2.1.7-01)	アクティブ	ライブラリ	JCSSmpl_adminserver, JCSSmpl_cluster	100	
<input type="checkbox"/> jstl(1.2,1.2.0.1)	アクティブ	ライブラリ	JCSSmpl_adminserver, JCSSmpl_cluster	100	
<input type="checkbox"/> log4j_jar(1.3,1.2.15)	アクティブ	ライブラリ	JCSSmpl_adminserver, JCSSmpl_cluster	100	
<input type="checkbox"/> odi.clickhistory(1.0,12.1.3)	アクティブ	ライブラリ	JCSSmpl_adminserver, JCSSmpl_cluster	100	
<input type="checkbox"/> odi.clickhistory.webapp(1.0,12.1.3)	アクティブ	ライブラリ	JCSSmpl_adminserver, JCSSmpl_cluster	100	
<input type="checkbox"/> ohw-rmf(5,12.1.3.0.0)	アクティブ	ライブラリ	JCSSmpl_adminserver, JCSSmpl_cluster	100	
<input type="checkbox"/> ohw-uix(5,12.1.3.0.0)	アクティブ	ライブラリ	JCSSmpl_adminserver, JCSSmpl_cluster	100	

HR横のチェックボックスをクリックした後、「起動」ボタンをクリックし「すべてのリクエストを処理」を選択します。

ホーム > デプロイメントのサマリー > HR > デプロイメントのサマリー

アプリケーション起動アシスタント

「はい」をクリックする

デプロイメントの起動

次のデプロイメントを起動します。続行するには「はい」、取り消すには「いいえ」をクリックします。

● HR

はい いいえ

「はい」をクリックして、アプリケーションを始動します。

ホーム > デプロイメントのサマリー > HR > デプロイメントのサマリー

デプロイメントのサマリー

制御 監視

このページには、このドメインにインストールされたJava EEアプリケーションとスタンドアロン・アプリケーション・モジュールが一覧表示されます。インストールされたアプリケーションとモジュールは、最初にアプリケーション名を選択し、このページのコントロールを使用して起動、停止、更新(再デプロイ)したり、ドメインから削除したりできます。

このドメインのターゲットにデプロイするアプリケーションまたはモジュールを新しくインストールするには、「インストール」ボタンを使用します。

この表のカスタマイズ

状態が「アクティブ」になる

名前	状態	ヘルス	タイプ	ターゲット	デプロイ順序
<input type="checkbox"/> em_sdkcore_ppc_public_pojo_jar	アクティブ	ライブラリ	JCSSmpl_adminserver, JCSSmpl_cluster	100	
<input checked="" type="checkbox"/> HR	アクティブ ✓ OK	エンタープライズ・アプリケーション	JCSSmpl_cluster	100	
<input type="checkbox"/> jsf(2.1,2.1.7-01)	アクティブ	ライブラリ	JCSSmpl_adminserver, JCSSmpl_cluster	100	

19. アプリケーションへのアクセス確認

The screenshot shows the Oracle Java Cloud Service Service Overview page. It displays resource details such as 2 OCPU, 15 GB Memory, 114 GB Persistence, and 2 Public IPs. A red arrow points to the Public IP field for the Load Balancer resource, which is highlighted with a red box. The IP address shown is 146.56.0.193.

Resource Type	Host Name	Public IP	Instance	OCPU	Memory	Persistence
管理サーバードメイン	JCSsample_01_domain	146.56.1.102	Runs Admin Server, Managed Server	1	7.5 GB	73 GB
ロードバランサ	JCSsample_01-1	146.56.0.193	Runs Load Balancer (Admin)	1	7.5 GB	41 GB

Java Cloud Service のインスタンス概要画面でロードバランサのパブリック IP を確認します。

確認したロードバランサのIPアドレスを以下のURLに入れて動作確認を行います。

<https://<パブリック IP>/HR-ViewController-context-root/faces/hr.xhtml>

Departments

DepartmentName	Search

Employees

Last Name	Search

上記のような画面が表示されます。

「Departments」の横にある「Search」をクリックする

Department Id	Department Name	Location Id
10	Administration	1700
20	Marketing	1800
30	Purchasing	1700
40	Human Resources	2400
50	Shipping	1500
60	IT	1400
70	Public Relations	2700
80	Sales	2500
90	Executive	1700
100	Finance	1700
110	Accounting	1700
120	Treasury	1700
130	Corporate Tax	1700
140	Control And Credit	1700
150	Shareholder Services	1700
160	Benefits	1700
170	Manufacturing	1700
180	Construction	1700
190	Contracting	1700
200	Operations	1700
210	IT Support	1700
220	NOC	1700
230	IT Helpdesk	1700
240	Government Sales	1700
250	Retail Sales	1700
...

「Departments」の横にある「Search」をクリックします。

departments テーブルに登録されているデータを表示します。

「Employees」の横にある「Search」をクリックする

Employee Id	First Name	Last Name	Email	Phone Number	Hire Date	Job Id	Salary	Commission Pct
100	Steven	King	SKING	515.123.4567	Tue Jun 17 00:00:00 UTC 2003	AD_PRES	24000	
101	Neena	Kochhar	NKOCHHAR	515.123.4568	Wed Sep 21 00:00:00 UTC 2005	AD_VP	17000	
102	Lex	De Haan	LDEHAAN	515.123.4569	Sat Jan 13 00:00:00 UTC 2001	AD_VP	17000	
103	Alexander	Hunold	AHUNOLD	590.423.4567	Tue Jan 03 00:00:00 UTC 2006	IT_PROG	8000	
104	Bruce	Ernst	BERNST	590.423.4568	Mon May 21 00:00:00 UTC 2007	IT_PROG	6000	
105	David	Austin	DAUSTIN	590.423.4569	Sat Jun 25 00:00:00 UTC 2005	IT_PROG	4800	
106	Valli	Pataballa	VPATABAL	590.423.4560	Sun Feb 05 00:00:00 UTC 2006	IT_PROG	4800	
107	Diana	Lorentz	DLORENTZ	590.423.5567	Wed Feb 07 00:00:00 UTC 2007	IT_PROG	4200	
108	Nancy	Greenberg	NGREENBE	515.124.4569	Sat Aug 17 00:00:00 UTC 2002	FI_MGR	12008	
109	Daniel	Faviet	DFAVIE	515.124.4169	Fri Aug 16 00:00:00 UTC 2002	FI_ACCOUNT	9000	
110	John	Chen	JCHEN	515.124.4269	Wed Sep 28 00:00:00 UTC 2005	FI_ACCOUNT	8200	
111	Iamael	Sciarras	ISCIARRA	515.124.4369	Fri Sep 30 00:00:00 UTC 2005	FI_ACCOUNT	7700	
112	Jose Manuel	Urman	JMURMAN	515.124.4469	Tue Mar 07 00:00:00 UTC 2006	FI_ACCOUNT	7800	
113	Luis	Popa	LPOPP	515.124.4567	Fri Dec 07 00:00:00 UTC 2007	FI_ACCOUNT	6900	
114	Den	Raphaely	DRAPHEAL	515.127.4561	Sat Dec 07 00:00:00 UTC 2002	PU_MAN	11000	
115	Alexander	Khoo	AKHOO	515.127.4562	Sun May 18 00:00:00 UTC 2003	PU_CLERK	3100	
...

「Employees」の横にある「Search」をクリックします。

employees テーブルに登録されているデータを表示します。

それぞれの正常表示が行えると、アプリケーションの正常デプロイ及び動作、またデータベースへの接続が確認出来ました。